【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公開番号】特開2007-51066(P2007-51066A)
【公開日】平成19年3月1日(2007.3.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-008
【出願番号】特願2004-318161(P2004-318161)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/565　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　31/565
Ａ６１Ｋ　39/00　　Ｈ
Ａ６１Ｐ　13/08
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月1日(2007.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前立腺癌を処置するための医薬組成物であって、低用量のエストラムスチンまたはその塩を含む、癌抗原ペプチド関連物質と一緒に投与される医薬組成物。
【請求項２】
低用量のエストラムスチンまたはその塩の用量が１４０～５６０ｍｇ／日である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
癌抗原ペプチド関連物質が患者指向性である、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
癌抗原ペプチド関連物質が、癌抗原タンパク質、その癌抗原ペプチド、その遺伝子およびそれらの誘導体より成る群から選択される、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
癌がホルモン不応性前立腺癌である、請求項１から４のいずれかに記載の医薬組成物。